

2009.4.22

## 元気のヒント

&lt;13&gt;



田宮 加容

徳島市立病院眼科

る「いじりながら見渡す」とい

うあります。生後から六歳未満ま

での発達段階で、何らかの原

因で、「いつもものを見ると」

ことができない場合、視力の

発達が妨げられます。これを

弱視と言います。

原因としては、遠視、乱

視、弱視、複屈折、視線が左右で

違う斜視、白内障やまだたが

子どもの視力はどの程度  
に達しているのですか。生まれたばかりの赤ちゃんは大人ほど  
視力が良くありません。測定  
の方にもよますが、新生児で0.1ほどです。その後成長とともに視力は発達

して、1歳0.1、2歳0.2、3歳0.3、  
4歳0.4、5歳0.5、6歳0.6、7歳0.7、8歳0.8、9歳0.9、10歳1.0

までの段階で、年々視力を高めています。視力の発達段階を表す

視力は「いいまつわの見る  
視力は「いいまつわの見る」とい

## 子どもの視力

子どもの年齢	視力
新生児	0.01
3ヶ月	0.02
1歳	0.2
2歳	0.5
3歳	0.8
5歳	1.0

## 重要な3歳児健診

### 「弱視の疑い」早期治療を

上手にとてこ眼  
瞼垂れがある  
一歳で止まりっこあります。徳島市では三歳六ヶ月で三歳児健診がありますので、なるべく早く治療する必要があります。三歳で一〇歳となって成熟します。  
もちろん裸眼で見えればいいですが、近視や遠視、乱視の矯正眼鏡をかけての検査でも年齢当時の視力があれば問題ありません。しかし年齢と比べてかなり遅れがあげられます。

千歳の視力検査の機会は、三歳児健診、就学時健診であります。三歳児健診、就学時健診があるため、五歳頃であれば、弱視の疑いで検査を受けることがあります。検査機を使つて検査で視力が0.5未満であれば、弱視の疑いがでます。また、この点で不思議なことがあります。三歳児健診は必ず受けなくて必要がないが、あれば最初

数年前に行われた徳島市の健診でも、三歳児健診を受けていた子どものうちの「・」といふ弱視の疑いと診断された。弱視と診断された場合、原因にあわせた治療を行います。例えは眼鏡をかけず、それでも視力がよくならないので、おまかせください。

### 徳島市の3歳児健診の場合

- 時期…3歳6ヶ月
- 家庭に送付される絵指標(右のイラスト、原寸大)を用い、2.5㍍離れて家人が検査を行う
- 正答率が50%以下の場合、健診会場で保健師が再検査を行う
- 再検査の結果正答率が100%未満の場合、要精密検査となる
- まぶしがる、兄弟が弱視など心配なことがありますれば要精密検査となる



一九九一年以前は三歳児健

診視力検査なく、就学時

健診で初めて弱視と診断さ

れ、六歳から治療を開始する

子たちが多くいました。

は、三歳児健診で弱視の子

も年早期に発見することができ、三歳で治療を開始で

きやすくなりました。その

ため以前より治療期間が短くなられ、治療後の視力も向上しています。

健診で見逃されやすいのは、片目のみの弱視です。片目が良い見えているので不自由なところがありません。視力検査は片目のみの測定ですが、

視力が悪い方の測定時間が長い方の回を十分離さず、お時間がないので、検査の場合は要注意して下さい。三歳児健診は必ず受けます。検査機を使つて検査で視力が0.5未満であれば、弱視の疑いがでます。また、この点で不思議なことがあります。三歳児健診は必ず受けなくて必要がないが、あれば最初

早期に発見して治療を行えます。しかし、弱視は外でも

視力が悪い方の測定時間が長い方の回を十分離さず、お時間がないので、検査の場合は要注意して下さい。三歳

児健診は必ず受けます。検査機を使つて検査で視力が0.5未満であれば、弱視の疑いがでます。また、この点で不思議なことがあります。三歳児健診は必ず受けなくて必要がないが、あれば最初

早期に発見して治療を行えます。しかし、弱視は外でも

視力が悪い方の測定時間が長い方の回を十分離さず、お時間がないので、検査の場合は要注意して下さい。三歳

児健診は必ず受けます。検査機を使つて検査で視力が0.5未満であれば、弱視の疑いがでます。また、この点で不思議なことがあります。三歳児健診は必ず受けなくて必要がないが、あれば最初